

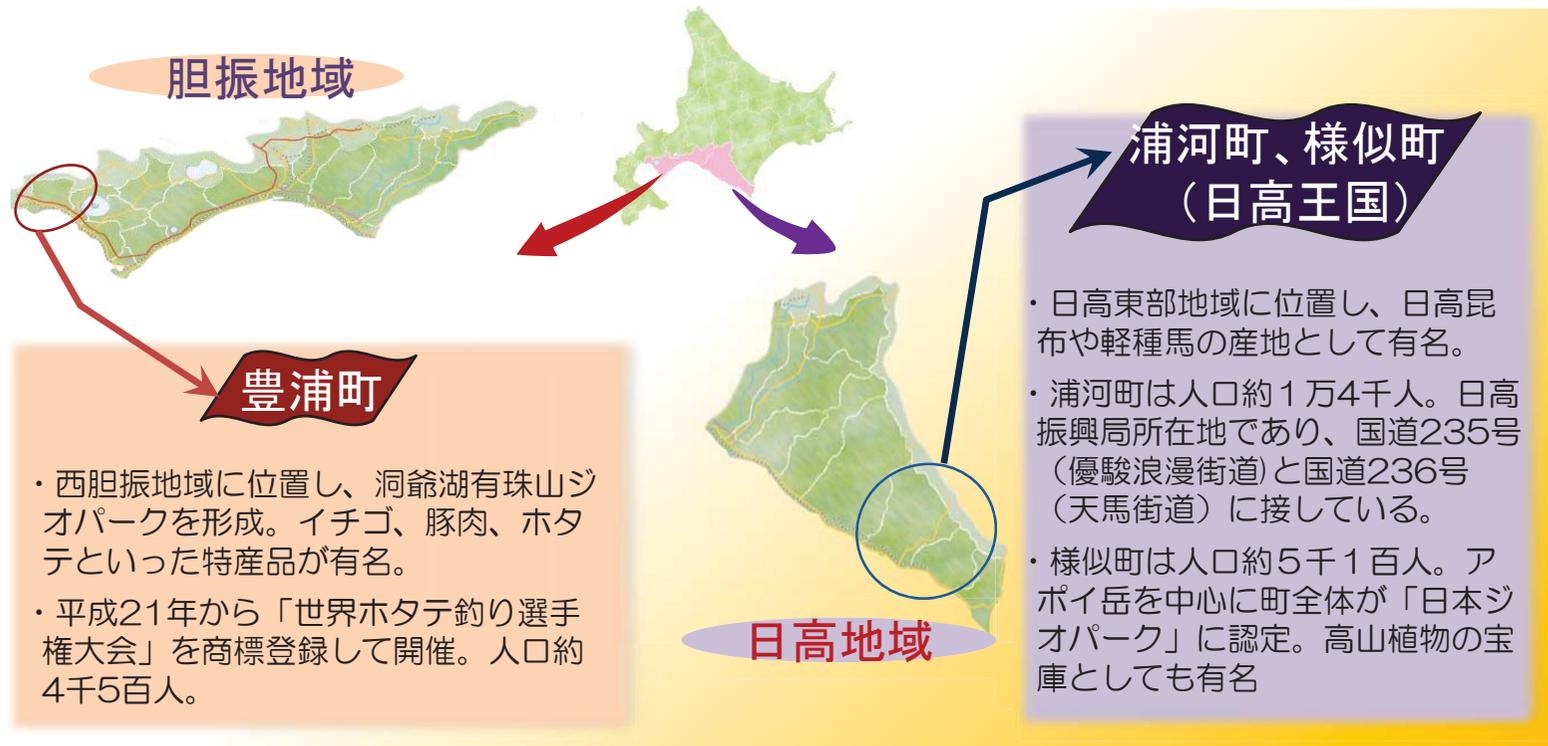
【体験活動・民泊の取組】 ～異なる生活環境・文化を体験！～ 1/4 〈豊浦町、浦河町・様似町〉

“まち” そのものが生きた教育の場に

室蘭開発建設部作成(H24.12)

- ◆生活の場である住居、そして“まち”そのものが、「生きた教育」、「地域の魅力発信」、「子供たちの宿泊施設」の場になります。
- ◆ここで言う「民泊」とは、小・中・高校生成が、修学旅行などにおける体験活動の一環として、一般家庭に宿泊体験する取組です（1家庭2～6名程度受入）。
- ◆体験活動・民泊の取組は、地域が一体となって学校教育に協力することによって、子どもたちが異なる生活環境・文化にふれあうとともに、住民もこの取組を通じて、生きがい・張り合いを感じたり、地域の魅力を発信して、観光などによる地域活性化を目指すものです。

※今回は、室蘭開発建設部管内(胆振・日高)の「豊浦町」と「浦河町・様似町(日高王国)」の取組について取り上げてみましたが、北海道ではこのほかにも民泊に取り組んでいる地域があります。



新学習指導要領

- ・文部科学省では、平成20年と平成21年に小、中、高等学校などにおける学習指導要領を改訂しました。
- ・新要領の主な改善事項の一つに、体験活動の充実が挙げられています。

※文部科学省HP「教員用パンフレット(平成20年作成)」抜粋

【体験活動の充実】

子どもたちの社会性や豊かな人間性をはぐくむため、その発達の段階に応じ、集団宿泊活動(小学校)、職場体験活動(中学校)、奉仕体験活動や就業体験活動(高等学校)を重点的に推進する。

～ 民泊の思い出 ～

室蘭開発建設部作成 (H24.12)

大阪市立西高等学校の皆さんから

- ・一緒につくったピザ！めっちゃおいしかったです！朝ごはんも、野菜も全部おいしかったです。
- ・北海道サイコー（笑）トマトサイコー（笑）
- ・みんなでしゃべって、ご飯食べて、すごく良い思い出になりました。
- ・大阪にも遊びにきてください。



大阪府立貝塚南高等学校の皆さんから

- ・最初は緊張したけど、丁寧に優しく接してくれて、自然とほぐれていきました。
- ・夜ごはんのおいしかったこと、笑ったこと、一生忘れません。
- ・北海道のことがよく分かりました。また来たいです。
- ・これからも健康に暮らしてください。



神戸村野工業高等学校の皆さんから

- ・すべてが初体験！普段できない貴重な体験ができました。牧場の大変さが分かりました。



- ・滞在した3日間はあっという間でした。
- ・夕食でのご家族との談話が思い出に残りました。もう1泊したかったです。

豊浦町の取組 ～10代の記憶から将来の応援団に～

室蘭開発建設部作成(H24.12)

- 豊浦町では、町、NPO法人自然体験学校、受入家庭や関係団体が連携して、平成22年度から民泊事業に取り組んでいる。
- 自然体験活動のノウハウがあるNPO法人自然体験学校が修学旅行の誘致や各種体験学習を実施、町が受入家庭を募集・登録するなど、それぞれの役割分担の下、**町内が一体**となって取り組むことで可能となった。
- この取組を通じて、①**豊浦町への親近感とPR効果**、②**将来の顧客・応援団・リピーター**、③受入家庭における高齢者の**生きがい・張り合い効果**を期待しており、これまで合計8校1,278名を受け入れている。

NPO法人自然体験学校

役割

- ・全体的な調整、コーディネート、ワンストップ窓口
- ・修学旅行の誘致(旅行会社への営業)
- ・各種体験学習の調整・実施

※NPO法人自然体験学校
自然を舞台とした体験活動を通じて地域のまちづくりを目指している。H16にNPO法人に認定。

地引き網漁体験



酪農体験 ホタテ殻むき体験

【NPO法人自然体験学校 洞爺湖・豊浦校】

乳井(にゅうい)校長から～感想～

- ・民泊実施日は、体調を崩す子どもたちもいるので気が抜けません。何かあっても対応できるように夜12時頃までは待機しています。
- ・豊浦町のファンづくりに貢献したいと思っています。宿泊後、別れ際に泣いている子供を見るとやっぴかったと思いました。



乳井校長

豊浦町

役割

- ・民泊受入家庭の募集、登録、調整
- ・登録家庭に対する豊浦町の自然や歴史・文化などの講習などのバックアップ

対面式



担当者から ～感想～

- ・受入家庭の登録者の募集が一番苦労しました。特に受入支度など大きな負担と不安から奥さん方が躊躇するようないこともありますが、今では多くの方にご理解いただけるまでになりました。
- ・羽毛やペットアレルギーの子どももあり、細心の注意を心がけています。

民泊受入家庭

役割

- ・修学旅行生等の受け入れ、生活体験を実施、普段どおりの地元食材を提供
- ・ホタテ養殖、いちご栽培など豊浦の歴史、魅力等を伝聞



【民泊note】

受入家庭

井餘田(いよた)さんから～感想～

- ・民泊は町民の間でも噂。町民間の交流にも役立っています。
- ・“民泊note”に子どもたちの感想や写真などを記録し、思い出づくりと次の受入時の参考としています。
- ・今のところ苦労したということはありません。今後も続けたいと思っています。



井餘田さん

農業
漁業等
体験

修学
旅行生

学校教育

民泊
体験

【体験活動・民泊の取組】～異なる生活環境・文化を体験！～ 4/4

浦河町・様似町の取組 ～日高を好きになってくれればうれしい～

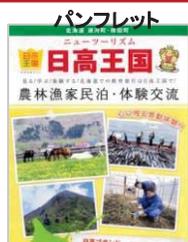
室蘭開発建設部作成(H24.12)

- 修学旅行生の農林漁業者の民泊・体験交流を受け入れるため、浦河町と様似町が事務局となって「日高王国推進協議会」を平成21年度に設立。平成23年度から受け入れを開始。これまで計3校362名（2泊3日）を受け入れている。
- 民泊に関しては、ノウハウも何もない行政と農林漁業者が、日高のPR、地域活性化への思いから、一から取り組んだ。
- ここでは、軽種馬、酪農、畑作、漁業、林業など、幅広い方が受け入れに協力しており、様々な農林漁業体験ができる。昆布漁や軽種馬農家などは、この地域ならではの体験。

浦河町、様似町(日高王国)

役割

- ・全体的な調整、コーディネート、窓口
- ・修学旅行の誘致(旅行会社等への営業・PR)
- ・民泊受入家庭の募集、調整



担当者から ～感想～

- ・受入家庭の方と、長沼や浦幌など民泊先進地に行ったり、モニターの学生を呼んで民泊体験していただいたりして、一緒に勉強しました。
- ・人数や期間など、受入家庭の方に無理のないように、事業を進めています。
- ・民泊の需要はあります。しかし、両町では受け入れに限界があるので、他地域との連携が必要と感じています。

農林漁業者(受入家庭)

役割

- ・修学旅行生等の受け入れ、生活体験を実施、普段どおりの地元食材の提供
- ・各種農林漁業体験学習の実施、日高の魅力を伝聞



馬とふれあう



厩舎の寝わらづくり



魚の外し方を学ぶ生徒達

受入家庭(軽種馬牧場)

富岡さんから ～感想～

- ・若い人たちと話ができて大変満足です。
- ・日高の地域活性化のため、民泊事業に協力しています。すこしでも浦河や軽種馬の魅力を知っていただければと思います。



富岡さん

農林漁業等
民泊体験

修学旅行生
学校教育

修学旅行生の負担軽減へ(日高自動車道)

- ・修学旅行生は、新千歳空港から日高自動車道を経由して浦河町、様似町に向かいます。
- ・日高自動車道は、移動時の安定走行や移動時間の短縮により、子供たちの負担軽減と、旅行のメニューづくりに幅を広げています。



※ 日高自動車道は、北海道縦貫自動車道苫小牧東ICから浦河町に至る延長約120kmの一般国道の自動車専用道路です。

今年(H24)3月17日に日高門別ICまで開通(供用延長45.7km)。

現在、全線開通に向け整備を進めています。